

## 環境経営のマネジメントサイクルをまわす

理想科学は、環境管理の組織体制、制度を整備し、環境目的・環境目標を設定して継続的な活動に取り組んでいます。

### 法規制の遵守

2014年度の当社の法規制および法規類の監視・測定、遵守評価の結果、全て遵守していることを確認しました。行政機関から罰金や行政指導は受けておらず、近隣からの環境に関わる苦情も受けていません。

詳細は当社Webサイトの「環境への取り組み／環境マネジメント体制」に掲載しています。

[http://www.riso.co.jp/eco\\_management/](http://www.riso.co.jp/eco_management/)

### 2020年度 全社環境目的(中期目標)

企業の成長と温暖化対策の両立をめざす産業界を挙げての取り組みである「電機・電子業界 低炭素社会実行計画」への加盟に伴い、同計画をふまえた2020年度までの目標に改定しました。これまでの2015年度 全社環境目的(中期目標)を見直し、再設定しました。

#### ● エネルギー使用量(原油換算)の削減

##### 国内全体で

- ▶ 2020年度においてエネルギー使用量単体売上高原単位を**3.79原油kℓ／億円以下**にする

(2014年度から2020年度までのエネルギー原単位改善率を年平均1%と定める。達成の判断は、基準年度(2012年度)比で2020年度に7.73%以上改善する)

#### ● CO<sub>2</sub>排出量の削減

##### 国内全体で

- ▶ 2020年度においてCO<sub>2</sub>の排出量単体売上高原単位を**12.10t-CO<sub>2</sub>／億円以下**にする

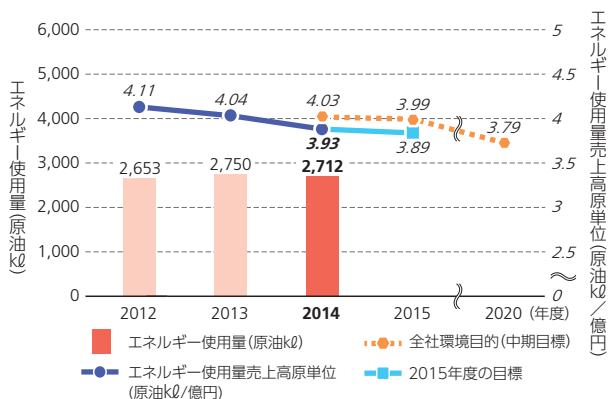
(エネルギー使用量単体売上高原単位の3.79原油kℓ／億円をCO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位に換算した数値に、物流と社有車のCO<sub>2</sub>排出量を含めた値)

##### 国内生産事業所全体で

- ▶ 2020年度においてCO<sub>2</sub>の排出量総製造原価原単位を**11.50t-CO<sub>2</sub>／億円以下**にする

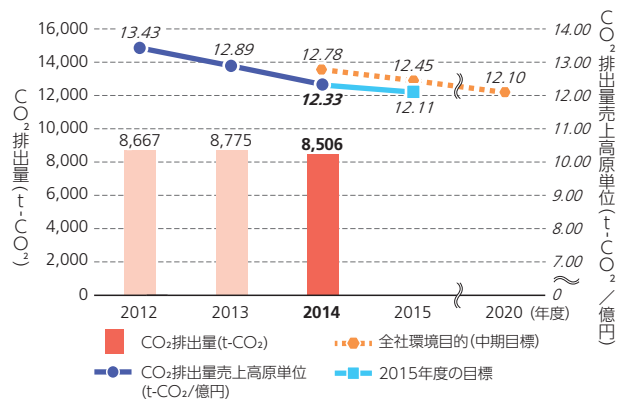
(エネルギー使用量単体売上高原単位の3.79原油kℓ／億円をCO<sub>2</sub>排出量製造原価原単位に換算した数値)

#### ● 全社(国内)エネルギー使用量および売上高原単位の推移



集計範囲: 理想科学単体国内全事業所のエネルギー使用量(委託物流量、社有車燃料使用量は除く)。売上高は単体売上高

#### ● 全社(国内)CO<sub>2</sub>排出量および売上高原単位の推移



集計範囲: 国内全事業所のエネルギー使用量、社有車の燃料使用量、物流部所管の製品・サービスの物流委託量とそれらに伴うCO<sub>2</sub>排出量。売上高は単体売上高

### 2014年度の実績状況

2014年度も2011年度の東日本大震災による電力供給逼迫をうけて、省電力に重点をおいた取り組みを継続しました。空調機や照明をエネルギー効率の高い設備へ更新し、屋根の遮熱塗装を行うなど積極的な投資を行い効果をあげました。2013年度と比較す

るとエネルギー使用量単体売上高原単位で3%、CO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位で4%改善しました。今後は適宜、PDCAを繰り返し、上方修正できるよう環境負荷の低減に向けて活動していきます。

詳細は当社Webサイトの「データブック」に掲載しています。

[http://www.riso.co.jp/eco\\_report/](http://www.riso.co.jp/eco_report/)